

24春闘③ 定期昇給半減の影響は？

コロナ禍の中で、JR東日本は2021年度の定期昇給について「昇給係数2」という回答を行いました。定期昇給を削減したのは、国鉄時代を含めて初めてのことでした。

定期昇給を行っても、毎年のように賃金の高い人が定年退職し、賃金の安い新入社員が入ってくるので、会社の負担は増えません。定期昇給の削減は、労働者の生涯賃金に大きな影響を及ぼすことになるのです。

定期昇給半減！生涯では153万円の減額に？

★23歳・指導係の場合（55歳まで残32年）

定期昇給額 5,500円 → 半減で 2,700円 $2,700円 \times 12ヶ月 \times 32年 \div 103万円$

●夏季と年末の手当を含めればさらに影響が拡大！ 153万円！

手当の平均を2.9ヶ月とした場合

$2,700円 \times 2.9ヶ月分 \times 2回 \times 32年 \div 50万円$

21年から減額された3年間の影響は134,200円にも!?

$2,700円 \times 12ヶ月 \times 3年 = 97,200円$ — 134,200円!

$2,700円 \times (2.0+2.0+2.3+2.4+2.5+2.65) \div 37,000円$

様々な処遇が改善されても 定期昇給の減額は取り戻すことが出来ません

**国労は、24春闘でも
定期昇給の回復を求めます!**